

講習の名称：学校経営における組織的対応と危機管理

担当講師：野村 晃男（大学院教育学研究科教授）、高橋 望（大学院教育学研究科准教授）

講習開講日：令和3年8月8日（日）

時間数：6 時間

主な受講対象者：幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭

キーワード：学校教育を取り巻く諸問題 学校組織 チーム学校 危機管理

講習の概要：

平成27年12月に取りまとめられた「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（中教審答申）」では、社会の変化と学校を取り巻く状況の変化をもとに、現状の教職員の多忙化を踏まえ、教育の多様性に応じる専門的スタッフの増強とチーム体制の構築、学校のマネジメント機能の強化、教員一人一人が力を発揮できる環境整備などを挙げ、これからの「学校」のあり方について「組織」面からの見直しや改善の必要性を述べています。

しかし、現状の「学校」の抱える諸問題の多様さや教職員の職務の煩雑化などを考えると、この問題の改善はそれほど容易なことではないように思われます。学校現場の実態やこれまでの取組の成果や課題について、受講者とともに検討していきます。

また、学校における日常的な安全確保、突発的事態への対応など危機管理について、学校組織としてどのような点に留意すべきなのか、どのような体制が求められるのか、受講者とともに検討していきます。

講習の展開：

第1時限 学校組織と危機管理

第2時限 学校危機管理の具体的事例

第3時限 「学校内の組織体制」をどう整備したらよいか

第4時限 「学校外の教育資本」をどう活用して組織力を高めるか

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

特に、専門的な領域に関する知識は必要としません。

勤務している学校における危機管理体制の現況、実際の取組について、ご自分なりの見解をお持ちいただくとよいと思います。また、文部科学省HPや教育関係雑誌等で「チーム学校」「開かれた学校づくり」等をキーワードに、現在の学校を取り巻く動向について、ご自分なりの理解や考えをお持ちいただくと理解が深まると思います。

授業の形式：講義 演習

履修認定試験：論述形式の筆記試験を課します（ノート・配布資料の持込可）。